

## 【2】日本政策投資銀行による融資

民鉄が行っている大規模工事を計画的・持続的に進めていくためには、長期かつ低利の資金を安定的に確保する必要があります。

そのため大手民鉄に対し、日本政策投資銀行から融資が行われています。

### ■ 都市圏民鉄に対する融資項目及び条件(広域ネットワーク整備枠)

対象工事	利率	融資比率
<b>①安全防災対策工事</b> ・立体交差化工事 ・事故防止工事	融資期間、信用リスク等を勘案しつつ、左記工事内容に応じ、金利を優遇	50% (但し、 2010年度～2017年度 は80%に緩和)
<b>②輸送力増強工事</b> ・都市中心部乗入工事 ・新線建設工事 ・複線化工事 ・大規模都市鉄道新線多目的旅客ターミナル施設工事		
<b>③利用者利便性向上工事</b> ・通勤混雑緩和対策工事 ・車両増強工事 ・車庫建設工事 ・変電所建設工事 ・駅ターミナル機能高度化工事 ・交通弱者対応工事		

### ■ 大手民鉄向け融資実績及び工事額

(単位:億円・%)

年度	工事額	融資実績	工事額に占める融資額の割合
2011	2,155	1,049 (1,140)	48.7
2012	1,980	983 (1,063)	49.6
2013	1,774	1,092 (1,227)	61.6
2014	2,162	971 (1,084)	44.9
2015	2,020	965 (1,000)	47.8
2016	2,184	1,102 (1,009)	50.5

(注) 1. ( )内は、大手民鉄以外も含めた民鉄事業者向けの融資実績(出資を含む)。  
2. 工事額は鉄道・運輸機構工事を除く。